

サステナビリティ教育研究センター 活動報告

1. タイトル

2024年度 けやき循環プロジェクト 落ち葉集め

2. 活動日時・参加人数

全4回

活動日	集合場所	参加人数(申込み人数)
2024年11月27日(水) 10時40分~11時25分	小学校	大学生 19名、教職員 17名 デイセンター山びこ 16名 けやきコミュニティセンター 5名 小学校1年生(4クラス) 112名 <u>計 169名</u>
2024年12月4日(水) 14時25分~15時10分	小学校	大学生 24名、教職員 14名 デイセンター山びこ 14名 スターバックスコーヒー社員 5名 小学校4年生(4クラス) 119名 <u>計 176名</u>
2024年12月16日(月) 15時45分~16時45分	中高	大学生 21名、教職員 17名 けやきコミュニティセンター 2名 中学生・高校生 50名 <u>計 90名</u>

3. 場所

ケヤキ並木・小学校松林・中高林苑

4. 活動内容

成蹊小学校の児童および成蹊中学・高等学校の生徒が焼き芋大会用の落ち葉を集めるタイミングに合わせて、大学生や教職員との合同落ち葉集めの日程をそれぞれ決定し、参加者を募集した。今年度も学生部の協力のもと、体育会ラグビー部、サッカー部、水泳部、お芋掘りサークルの学生が多数参加した。当日は、ケヤキ並木をエリアごとに、小学生または中高生、大学生、教職員が混在するグループに分け、竹ぼうき、軍手、塵取りを使用して30分間程度落ち葉を回収した。集めた落ち葉は小学校と中高へ運ばれ、焼き芋大会で使用された。参加した教職員と大学生で希望する方には、小学校の焼き芋大会で作った焼き芋が配付された。また、各回の落ち葉集めの開始前には、けやき循環プロジェクトの概要について参加者に説明を行った。

5. 成果と課題

<成果>

- ・参加者に対して、ケヤキ並木が抱える課題(大量の落ち葉、高木化など)を共有し、けやき循環プロジェクトの認知度向上に貢献した。
- ・広範囲にわたる落ち葉集めは終わりのない作業となるが、作業後には適度な達成感とともに、共に活動した仲間との連帯感が生まれた。また、地域住民からの感謝の言葉をいただく場面もあり、地域交流の機会となった。

・小学生から大学生、教職員までが一緒に協力して取り組む貴重なイベントであり、特に今年度はお芋掘りサークルの学生や昨年度に続き体育会の大学生が多く参加したことで、異なる世代間での交流が活発に行われ、貴重な体験となった。

・今年度も SDGs に積極的に取り組むスターバックスコーヒーの社員 5 名と、けやきコミュニティセンターの職員 7 名が参加した。さらに、新たにデイセンター山びこの職員や利用者（主に知的障害・自閉症などの障がい者）も参加し、学外との交流が広がった。

<課題>

・公募による大学生の参加者が少ないため、けやき循環プロジェクトの認知度向上と参加促進のための取り組みが必要である。

・ここ数年、コロナウイルス感染症拡大の影響で地域清掃活動が休止しているため、地域清掃活動との連携ができていない。今後は、地域住民と学生の交流を深めるイベント企画を検討する必要がある。

・参加人数が多い回では運営スタッフが不足し、混乱が生じる場面もあった。来年度以降は、けやき循環プロジェクトのメンバーへの協力依頼を強化し、円滑な運営を図る必要がある。

写真：教職員・大学生・小学生と一緒に落ち葉集めをしている様子



写真：教職員・大学生・高校生・中学生と一緒に落ち葉集めをしている様子

